

檀原で赤い羽根募金70周年の集い

感謝の思いこめて

意見交換やコンサート

昨年70周年を迎えた赤い羽根共同募金運動の「70年感謝の集い」が28日、檀原市大久保町の県社会福祉総合センターで開かれた。

運動に参加する関係者への感謝の気持ちを込めて、県共同募金会と各市町村共同募金委

員会が実施。運営費は各団体の有志による寄付でまかなわれた。

パネルディスカッションでは、天理大学の渡辺一城教授と東京都

市大学の太谷紀子教授が「共同募金活動の新たな展開」で意見交換。地域福祉が専門の渡辺

教授は共同募金70年の歴史を簡明に振り返り、「現在は共感を促すような取り組みが必要ではないか」と呼び掛けた。

また人工知能(AI)を研究する太谷教授は、AIを使ってフォークデュオ「ワライナキ」と共同で作曲した共同募金応援ソング「akaihane」の誕生秘話を紹介。「運動のいろいろな場面で貢献していったら」と語った。

続くコンサートでは、ワライナキが「akaihane」などを熱唱。ロビーでは協力団体による物品販売も行われた。



パネルディスカッションで意見交換する渡辺教授(右)と太谷教授(左)が28日、檀原市大久保町の県社会福祉総合センター